

大学院医学研究科 医学専攻 博士課程

専攻主科目名

# 肝臓免疫代謝学

※附属溝口病院

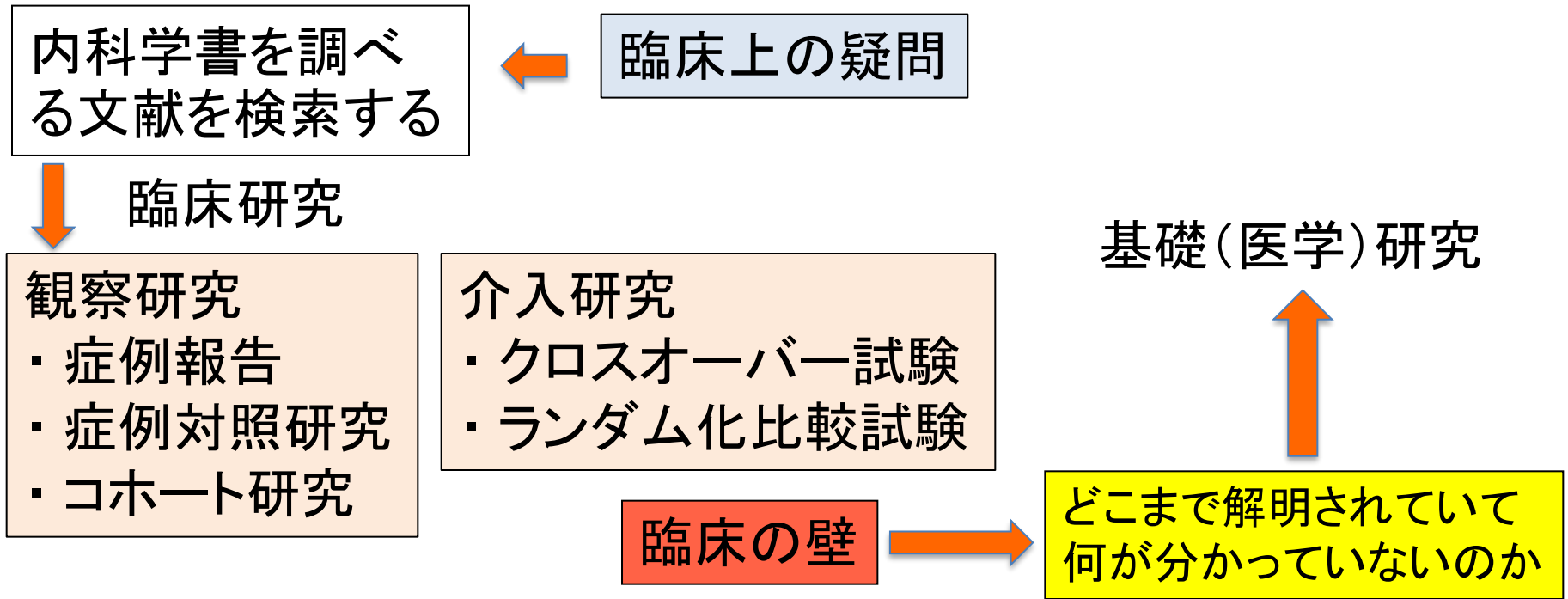
◆問合わせ連絡先 担当：第四内科学講座 准教授 菊池健太郎

TEL 044-844-3333（溝口病院代表）

HP <http://teikyo-mizonokuchi.jp/index.html>

「肝臓免疫代謝学」の考える「研究」とは、

臨床的疑問の解決手段であり、臨床能力を高める機会である。



医師としての人生（キャリア）の中で、学徳を磨く（スキルアップ）

# 臨床上の疑問: 原発性胆汁性肝硬変 (PBC) はなぜ血清IgMが高いのか?

## 臨床研究

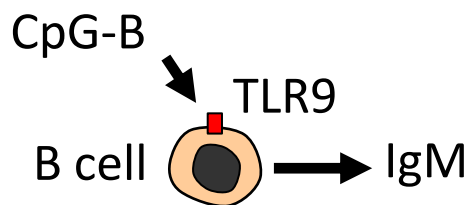
- ・ 尿路感染症の既往が多い
- ・ 特定の細菌に対する抗体反応が強い

PBCの病因に  
感染説

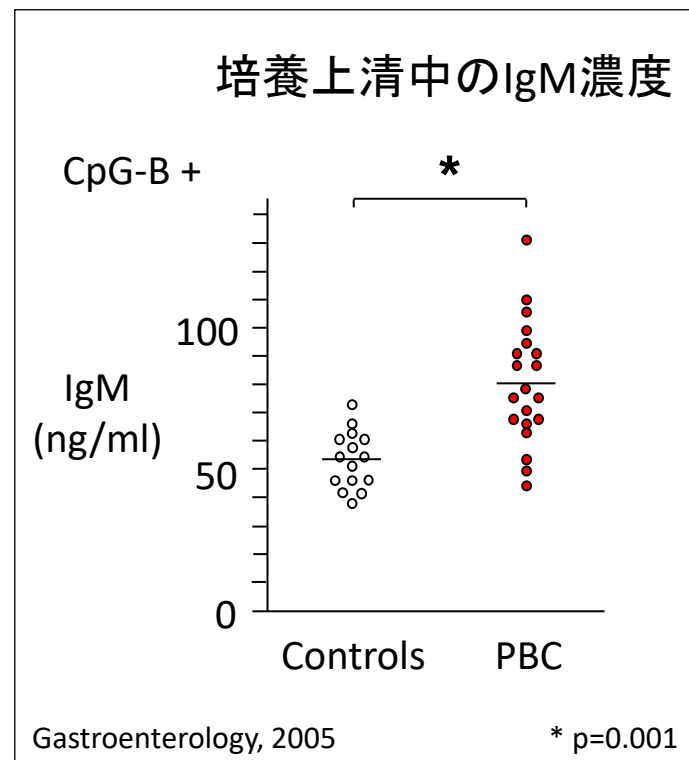
## 基礎研究

仮説: 細菌刺激に対する自然免疫反応の  
亢進がある

方法: B細胞をCpG-Bで刺激し IgM産生を  
調べる



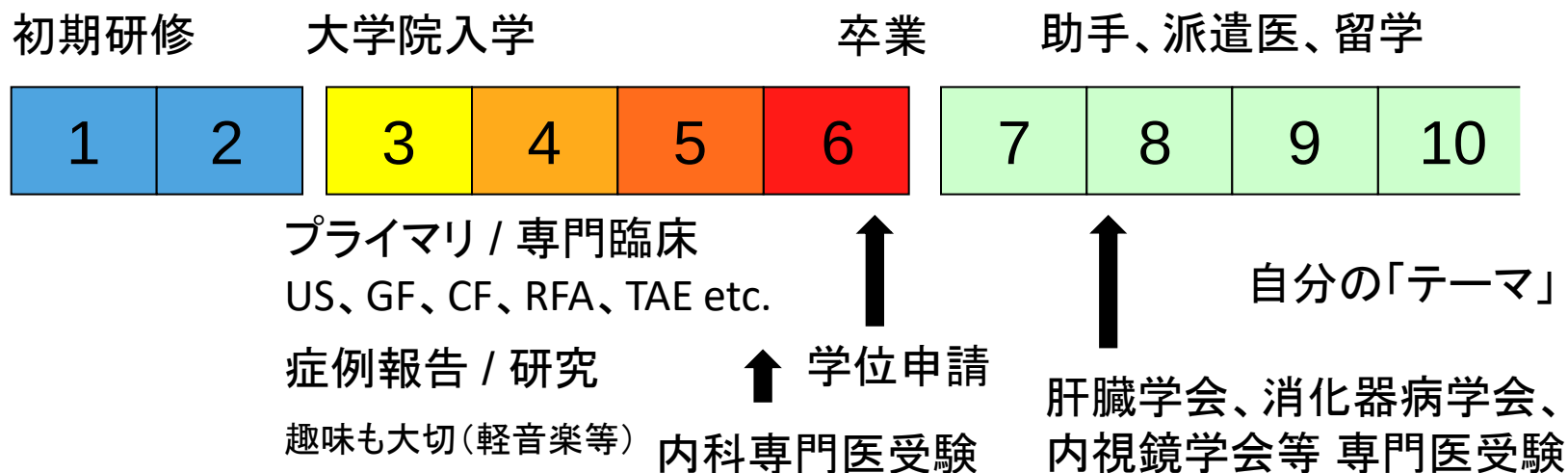
結果: PBCのB細胞から高いIgM産生性を  
認めた(仮説が支持された)→次の展開へ



## 「溝口病院」の大学院の特徴

分院として先進的技術と知識を幅広く、また地域に根ざしたプライマリケアを修得できる。溝口病院独自の共通科目「プライマリ特論」もある。

## 「肝臓免疫代謝学」のキャリアパス



## 「肝臓免疫代謝学」の到達目標

「僕は、私は、帝京大学で、何をやった。」将来、後輩達がそう言えること。  
その誇りを胸に、世に貢献していくと信じて。